

会 議 録

会議の名称	第8回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校 開校準備委員会		
開催日時	令和5年5月10日（水） 開会 18：30 閉会 20：30		
開催場所	つくば市役所2階 203会議室		
事務局（担当課）	教育局 学務課		
出席者	委員	井上拳吾、金子朋子、黒崎徹、谷池真彦、木ノ内富美代 高橋正典、別府孝泰、松本智加、熊谷みを、関美智子 牧野祐一、谷山友香	
	事務局	学び推進課指導主事 原野智子、学務課課長 下田裕久 学務課係長 大友博幸、学務課主査 菅原理恵 学務課主任 篠原周平、学務課主事 白土直也	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
	傍聴者数	0人	
非公開の場合はその理由			
議題	（1）制服・体操服について （2）校歌について （3）通学路について		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 議事 （1）制服・体操服について （2）校歌について （3）通学路について 4 その他 5 閉会		

< 審議内容 >

1 開会

事務局：ただいまから第8回(仮称)みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようお願いいたします。マイクの下スイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくお願いいたします。

2 委員紹介

新任委員及び事務局自己紹介

3 議事

事務局：それではこれより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。

委員長：よろしくお願いいたします。それでは、会議を進行させていただきます。傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：傍聴人はいません。

委員長：傍聴人はいらっしゃらないようなので議事に入りたいと思います。本日は、結構ありますよ、制服・体操服、校歌、通学路についてです。それでは、制服、体操服について、配布されている資料について説明をお願いいたします。

事務局：はい、事務局です。それでは初めに、資料の方の説明からさせていただきます。まず資料1につきまして、こちらは制服・体操服の選定スケジュール案となっております。今回第8回委員会では、制服・体操服の検討、またメーカー選定方法の検討について行っていきたいと思います。資料2-1の方に進みまして、こちらは前回の案、制服・体操服のアンケートの結果の方となっております。アンケートの結果としまして、回答数としましては、今回1,129件となりました。アンケートの詳細については資料2

－2の方で、今回、資料2－2の方では、全体での回答数。2番として児童生徒の回答。3番がみどりの学園の保護者。4番、谷田部南小の保護者。5番、みどりの学園の新設校区の保護者の方という形で5種類に分けさせております。2－2の1番の質問としては、制服について、ジャケット、スラックス、スカート、シャツ、ネクタイ・リボンなど、指定が良いか標準がいいかという質問になっています。2つ目としては、制服を一部指定にする場合は、どの部分を指定するのが良いかという回答になっております。3つ目は、ジャケット等には校章を付けたいと思うかどうか。4つ目として校章を付けるならどのようなものか。5つ目として、こちら体操服に入っていきます、新設の体操服については、谷田部南小を含めた2小1中の学園で統一するのか。もしくは新設の小学校と中学校で別々のものを作るのか、となっています。6番目として制服・体操服について重視することの回答結果も載せております。資料の方、2－3へ進みまして、こちらは制服について、すべて指定が良い、一部指定が良い、標準が良いという回答に対してその理由の方を簡単にではありますが分類ごとにまとめさせていただいています。それではまず初めに、ここまでアンケート結果の方を参考にして、制服・体操服の仕様の方を決定していただきたいと思います。そちらの方が終わりましたら、続きましてコンペについて説明の方をさせていただければと思いますので、議事の進行の方、委員長：よろしくお願いたします。

委員長：それでは制服、体操服の順で決めていきたいと思いますが、制服のアンケート結果から、ちょっとアンケート結果見ていただいて、はい。これでいえることは何ですか。これでいえることは、子供たちは全部指定して欲しい。その方が安心だ。細かい分類された内容なんかも前ちょっと読んできたんですけども、全部指定しちゃったほうが安心だと子供たちが言っている。保護者の方たちの半数は、全部指定しちゃったほうが良いという

結果が出ているのでどうなんですかね。これを準備委員会の中でそうじゃなくてっていうと、その根拠が持てるかってことですよ。万が一その標準服がいいとか、一部指定にしたいってここになった時に、このデータ以外で、覆す根拠が持てるかどうかっていうところですけどもどうですかこれ。はい、お願いします。

委員：前回の会議の時には、いろいろ意見が出たんですけども、これを覆すほどのものはないと思います。やっぱり指定の希望が多いので指定の方がいいのではないかなというふうに思います。

委員長：他はいかがですか。はい。

委員：そうですね、やはり指定が多いということで、指定の方でいいのかなと思います。ただ前からちょっとお話が出ているように、女性がズボンを履けるとか、そういったところは少し幅を持たせてあげてもいいのかなと思っています。また、例えばワイシャツの色なんかも、例えば2、3色用意できるような形にすれば、谷田部中とか、みどりの学園の方から来る生徒さんに対してもいろいろの配慮ができて、極端に浮くとか、そういったことが、ないのかなと思うので。ちょっとそういった形で、指定をしていくような形で進めていってもいいのかなと思います。

委員長：よろしいですか。では、アンケート結果にもありますので、制服については指定ということで決定をしたいと思います。シャツについてと、ジェンダーフリーというんですかね、そのズボンでもスカートでも、履いていいよっていうそういう仕様でっていうことで、業者さんには考えてもらいたいんですけど、いいですか事務局これで。

事務局：はい、事務局です。今、皆さんのお話もあったのと、2-3のそれぞれのご意見を見ても、指定は指定で確かに多かったんですけど、一部指定の方の中では、スカートとかパンツ、あとワイシャツとかの自由度がきけばっていう意見が多いこともありました。ただ、指定がありますから、

指定を設けた上で、今お話があったようにワイシャツなんか例えば3種類ぐらい用意して、式典の時だけは白にしてくださいと。それ以外通常の時は白でも青でも紺でもいいですよってというような形にすれば、ある程度幅が持てるのかなっていう気はします。またスカート、スラックスとかについても、例えば決まったのが紺とすると、プラスとしてグレーもいいですよって形になれば、幅が持てる形かとは思いますが、それは、この先の話ですよ。コンペをやったときに、まず業者さんが決まって、そのあと決まった業者さんが、新しい学校のを作ってきますので、その中でまず決まった後に、じゃあプラスとして、付属する場合どれがいいですかってメーカーから推薦もらった方がいいのかなって気がします。上と下が決まらなないと、似合うワイシャツの色とかものは全部決まってこないかと思うので。もし幅を持たせるのであれば、ある程度決まった後に、これをプラスでっていうふうにやった方が、メーカーとしても対応できるのかなって思います。最初からこの色でお願いしますって言うと、もうジャケットとかパンツ・スカートの方の幅もたせられなくなってくる部分があるので、その辺はまず決まって中身についてプラスのオプションとしてどうするかって言うのは後でもいいんじゃないかなと思います。その他として例えば、研学とかは他で言えば夏はポロシャツにしたいということで、ポロシャツでも色のバリエーションがあると思うので、それはメーカーさんにお話をしていただかないと、後で来るときに、サンプルをいっぱい持ってきますけども、例えば、洗やすいものとか、機能的なもので選んだ時に考えていた色がない場合がありますので、まずは決まった後でその決まったものに対してサブとしてある色がどれかっていうのを推薦してもらって、皆さんで話して決めてったほうがいいかなと思いますので、そうすれば、指定は作りましたが、一部指定が良いって言った人の意見を反映した、幅を少し持たせる感じになるので、それでいいんじゃないかなと思います。

委員長：それいいですね。はい。とりあえず指定で作って、それでコンペにかけるってことですよね。うん。指定ってということで、もう決まればそのまんま全部指定でいきますので、それに考えたコンペの方式にしますよってということでメーカーにはお伝えします。それで準備委員会としてはよろしいですか。そのような流れでね、はい、ありがとうございます。では体操服の方に移っていきたいと思いますが、体操服は資料の2-2ですね。これ。5ページですね。体操服については、全体で72%の方が、学園統一のものを希望していると。子供たちの70%が同一のもので作って欲しい。それを着たいって意見になっているということなんですけどもいかがですか。これもこの希望を叶える方向でよろしいですか。だから、こういうことですかね、半袖、ハーフパンツ、長袖、長ズボンのものを一つ作るってということでとらえて大丈夫ですか。はい。事務局さん。そういうふうなことですけれども。

事務局：はい。もしそれで決まったということは、小と中学校同じなんですけど、今後は谷田部南さんで考えていただくことになると思うのが、ここは同一学園でってということになっていますので、谷田部南小さんの現行の体操服を今後変えていくかどうかを検討していただくことになるかどうかなと思いますね。ここに書いてある通り、同一学園って言うと2小1中ってことになりますので、今回あくまで新しい小学校と中学校のは一緒にいいよって話ですけど、やっぱり南小さんも含めての意味でのアンケートですから、そうした方がいいってことになるのと、現行の体操服を新しい学校に似たようなものに作り替えるかどうかっていうのを、検討することがどうなるかっていうのが出てくるかですね。そのままで良い。現行の体操服で良いっていうかどうかは、皆さんでよく検討していただくことになるかなとは思っています。

委員：多分このアンケートを出した時に、もう、もし統一するのであれば、谷

田部南小も変えると。ただ、当然移行期があるので、それを新しく買うのであれば、新しい学園のものを買ってくださいねっていうスタイルでどんどん取りかえていくイメージをしていたので、それでいいのではないかなと思うんですけども、なので何とか学園という名前はまだ決まってないんですけども、学園を基に小学校と中学校が同じものを着るというスタイルでいいのかなと思っています。はい。

事務局：ちなみになんですけど、香取台ができるときに、島名小で新しい体操服のサンプルを置いてアンケートをやったんですけど島名小さんは同時に島名小のも作り変えるので、その決まったメーカーさんをお願いして、作ってもらってコンペをしていたので、もし、やる機会があれば、そういうことも可能は可能ですかね。

委員長：じゃあ制服・体操服はそのような形で作って、体操服もコンペですよ。はい。体操服もコンペですね。はい。併せてコンペしていくっていうことで、コンペについての説明は事務局さんの方ですか。

事務局：その前に戻っていただいて。はい。3ページ。ワッペン、ピンバッチの件で作りたいていうのがあるんですよ。ご意見は。

委員：つけていただいて構わないかと思います。もし、例えば前もちょっと話が出た、ワッペンだけを購入できるっていうのもオプションに入れておいたほうがいいのかと思います。結局、谷田部中から来る子がいれば、そういう子も付けられる。何かその子だけついてないのもね、ただでさえ制服違うのに、それがついてないってのはまたかわいそうかなと思う。買う買わないは個人の自由としてオプションでちょっとそういうのをできたらと思います。

委員長：ワッペン付けますか。はい。ワッペン付けますが、付けた制服を作ってもらうんですけど、その上で、ワッペンも別々に欲しいなっていう条件が付けられますかね。

事務局：ワッペンとは別の業者でもってというお話を皆さんされていたと思うので、ワッペンを付けるというのはもうこれでいいんですけども、今回は完全指定なので、もうワッペン付けるってことになれば、決まったメーカーが付けてくると思うんですけど、前回のお話の通り、このコンペで決まる会社さんをお願いするのではなく、別の会社さんをお願いするかっていう今度その問題が出てきます。じゃなくて、ワッペンは決まったメーカーさんをお願いして、かつ、予備としてワッペンも別売りしてもらいたいってことでいくのか、そうではなく、どうするかっていう問題があります。

委員長：別業者さんにワッペンだけ作ってもらってなれば、コンペに出てくるのはもうワッペンなしでいいですよってことですもんね。

事務局：そうですねそのコンペのメーカーさんは、付けないので、皆さんが付けてもらうような形にはなりませんね。

委員長：ではそこです。ワッペンだけは別業者さんに頼んで、そうすれば、最初から似たようなものに付けることが可能。あとは、谷田部中のジャケットに付けることも可能だし、もしかしたらみどりの学園のものは剥がしてそれを付けることも可能になるので、ワッペンは別の業者さんをお願いして、制服の業者さんは、ワッペンないものをコンペに出していただく。という方法と、スペアがもらえるんなら、もらえるっていうか売ってもらえるんなら、制服業者にもう全部お願いしちゃうかっていう。いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：そうですね。制服の色味とかの絡みももしかしたらあるので、できれば同一のメーカーさん、業者さんをお願いした方がいいんじゃないかなと思います。前回までの話としては、自分で購入してきてとかっていう話を前提にしてたので、オプションでそういうのをもらえるような業者さんをお願いをしていく。もしどうしても業者さんが無理っていうんであればまたちょっと考えなきゃいけないんですけども、基本的には同じ業者さんで作っ

てもらった方が制服との色のバランスとかもいいんじゃないかなと思います。

委員長：他にいかがですか。はい、お願いします。

委員：はい。多分その後付になると、取り付けの位置だったり、あとそのアイロンで多分付けるとか刺繍で縫い付けるとか手間もちょっとかかったり、あとで剥がれちゃったり耐久性の問題とか、その辺も出てくるので、その統一する業者さんに、オプションで出してもらうかを聞いてもらいたいな感じの方がやっぱりいいのかなというふうに思います。

委員長：はい。それとは違う意見ありますか。はい、お願いします。

委員：はい。アンケート結果はワッペン多いんですけど、谷田部中はついてない。でも谷田部中は多分ネクタイとかそこら辺に刺繍が入っているんですよ。だから違うところでワッペン代わりじゃないけど、そういうものがあってもいいのかなあっていうのも一理かなと思うんですけど。

委員長：ワッペンを製造している業者を事務局で探してもらえますか。もしそうになったら。

事務局：まず問題っていうところになるかわかんないんですけど、このワッペン、ピンバッチって皆さん何を付けるっていうイメージがあるかですよ。校章を付けたいと思うのか、どうかで変わってくる部分もありますし、似たようなものでよければ、それか何か学園がわかるようなものっていうことにするのであれば、ブレザーのボタン、ボタンを校章みたいにしちゃうことも可能は可能だと思うんですよ。ただそのワッペンとかピンバッチは校章をつけたいと思っているかどうかっていうのがまず一つで、ワッペンであればそのワッペンを作っているところを探すのはできますけども、もう何を付けるっていうふうに言わないといけないんでしょうけども、一旦ちょっとワッペン業者を1回見たときに、今回のを単独で頼むと結構な金額出ると思うんですよ。なぜかという、今までのデータを見てもら

うと、校章の見てもらいたいんですけど、中学校のは緑だったと思うんですけども、緑でもあれ3色ぐらい使っていると思うんですよ。グラデーションの色になっていて、背景もあるとなると、ワッペン作るのって何色かで値段が変わってくるので、色遣いによって結構するのかなと思うので、単独でお願いするとロットを多分いっぱい頼んで1回で注文しておかないと、そのあと追加っていうのは、1個1個の単価が高くなる。そういうものが出てくるので、中学校の方は谷田部南と一緒にだからピンクですよ。緑とピンクの。そうすると緑で3色、ピンクで3色なんで、すでに6色を使っているんですよ。そこにもっと文字とか下地が来るので、8色、9色になると多分、見積もり応相談だったと思うので、単価は多分結構上がってくるかなと思います。ただそれをどれだけのロットを頼んだかで割り引いてもらえるかになってくるので、そのワッペン自体をどういうものにするかですよ。忠実に再現してしまうと、単価は上がりますが、同じピンクと緑をある程度我慢してもらって、少なめに使えば、色数が少なくなれば、ワッペン自体も価格が下がるかどうかになってくるので、それはただ、制服を頼むメーカーにお願いすると、おそらく単独でワッペンを頼むよりももしかすると安くなる可能性はあるかもしれないんですけど。生地カラーバリエーションで単価的には、ワッペン専門業者だと高くなってくるのかなと思います。

委員長：校章アンケートのその設問が、校章を付けたいと思うかだから、もうあのイメージだと思うんですよ、皆さんね。この間決まった校章のイメージのものがここに付くっていうイメージでいるので色を落としてお願いするっていうのは、アンケートっていうか、アンケートに答えてくれた人たちの考えを反映できないかなって思います。

事務局：であればもう別途頼む形をとるのか、もう制服メーカーにお願いするかになると思います。6色、7色になってくるとこの制服に付けるちっ

ちやいので1個 700 円、800 円ぐらいの単価になってくるかは応相談になっちゃうので、どれだけになるかわかんないですね。ただ、もうデザインはできちゃっているんで、デザインをお渡しした上で、色数が多いので、その問題かなと思うので、1個単純には 700 円、800 円ぐらいするかどうかなって来るかもしれないです。それをロットいっぱい頼むのでって言って、下がってくるかどうかの話かとは思いますが。200 円、300 円では作るの難しくなってくるかなっていう。

委員長：ピンバッチってちょっと価格がわかんないですけど、ワッペンとどれぐらい違うもんですか。

事務局：今まで制服コンペにいろいろ関わってますけど、ピンバッチってやったことないんですよ。みんなブレザーのここに校章のワッペンを付けたいって言うだけでしかやってないので、ただ、なんですけどこれ決まった制服メーカーはもう、価格がこれですって言うだけなので、ワッペンも何でも入って、それをこう安くするかどうかっていう話になりますけど、ワッペンだろうがピンバッチだろうが、別で頼むとなると、制服は制服、ワッペン、ピンバッチ別になるので、皆さんその辺を考えてもらうしか今度はないんですよ。金額的なことを言うてしまうと、制服メーカーに頼んでしまうと、ワッペンはこれだけですよって多分あったとしても、向こうも商売ですから、多分ワッペン作るのを抱えてるか何かだと思うので、一般に頼むよりは安くなるはずだと思うんですね。その上でまた制服と一体化でいくので、ある程度金額はっていうのと、ワッペン別売りについても可能ならして欲しいんですけどって言い方になるので、前回とはちょっと違う部分が出てくるかもしれないですね。

委員長：そう。全部制服なんだから、それぐらいやってもらってもですよ。いかがですか。ワッペンは制服作ってくれるところに、くっついてるものをお願いして、標準服じゃないから、全部指定の制服だから、替えのワッ

ペンも学校に置いときたいんだけどという条件で作っていただくっていうことよろしいですか。はい。ではそのような形でコンペにかける。

事務局：はい、では確認しますね、制服・体操服はすべて指定で、制服についてはワッペンも付けてもらう形でメーカーにお願いするコンペでよろしいですか。

委員長：そうですね。

事務局：それでは、その形で、プラスワッペンについては、別売りもできるだけ欲しいっていうことで話すっていうことで。それでコンペの方は進めようとは思いますが。

委員長：次は事務局さんの方ですか。はい。

事務局：はい、事務局です。それでは続きまして、コンペについて説明をさせていただきますと思います。今回、コンペに関してはまずこちらから参加メーカーに関してはお呼びさせていただきます、その参加メーカーがまず会場に企画書を持ち込み、制服・体操服等のサンプル等を持ち込んでプレゼンの方を実施していきます。プレゼンが終わった後に、短い時間ですが質疑応答をして、全社終了した後に、準備委員会の中で、参加メーカーに対して審査を行い、制服・体操服のメーカーをそれぞれ1社ずつ選定させていただきます。選定後、選定したメーカーと新設校の制服・体操服について打ち合わせの方を実施していく流れがコンペ当日になります。今日、準備委員会の方で決めていただきたいのが、まず制服・体操服のコンペについて、それぞれ何社ずつ呼ぶかということ。呼ぶ会社をで準備委員会の中で、例えばこのメーカーに参加していただきたい等の希望があるのかどうか。特に準備委員会の方で参加して欲しいメーカーとかに希望がなければ、先ほどの条件で、こちらの方からも谷田部地区の販売店等に協力を依頼してメーカーの方をお呼びしたいと考えています。決めることのもう一つとしましては、制服と体操服のコンペを1日にまとめて実施するか、も

しくは2日に分けて実施するか。1日にまとめて実施する場合ですと、例えば3社ずつ読んだ場合でも、時間的にはかなりの時間を使ってしまうことになるので、1日にまとめる場合は、夕方いっぱいを使ってしまうことになると思います。2日に分ける場合は、始まりを今回の委員会などと同じで18時半から始めれば、大体予定としては20時半から9時頃ぐらいに終わるスケジュールで進めていきたいと思います。先ほど、前者のプレゼンが終了した後にメーカーの審査方法をどのように決めていくのか。例えば今までですと選定評価方法として、メーカーの取り組み姿勢であったり、機能・品質、価格デザイン等を評価項目の方に入れて各委員で点数を入れたりしていました。委員の皆様の方の合計の点数を足し上げて、最も点数を取ったところで、メーカーの方を選定していくという流れを取っておりました。こちら審査の評価方法の具体的な内容については開校準備委員会の中で準備委員の方に作っていただいて、審査の方を行ってはいます。審査方法としましては、このように細かく分けることもできますし、簡単にメーカーの中で、点数を簡単に付けていく方法もありますので、そちらの方は準備委員会の方で決定していただければと思います。コンペについての説明は以上になります。議事の進行を委員長：お願いいたします。

委員長：はい。それじゃあ、参加して欲しいメーカーがあるかの確認と日程、審査方法ですよね。それを決めればいい。あと何社呼ぶか。この中で呼んでもらいたいメーカー、明確にあるっていう方はいらっしゃいますか。このメーカーがいいっていう。はい。お願いします。

委員：メーカーはわかりませんが、研究学園の体操服が私から見たらすてきなデザインだったので、ちょっとおしゃれな感じだったので、すごくすてきななと思ったので、そのメーカーさんは呼んでいただいたらいいかなあと思ったんです。

委員長：はい、じゃあそれは事務局の方で調整していただくということで。他

にこれ入っていた方がいいなっていうメーカー、メーカーはわかんないですもんね。ちょっと出ないと思うんですけど。

事務局：コンペかなんかでファイテンが入っている体操服をやったんですけど、だからそファイテンを使っているジャージがいいっていう話だったのが香取台で、あとは例えば、現行のみどりのの体操服のメーカーも来て欲しいって呼ぶのか、学森とかのメーカーなのかとかいろいろありますけど。そうなるちょっとわかるかもしれないですね。ただある意味、ファイテンとかなってくると、ブランド品の名前入ってきますから、高くなります。

委員長：ですよ。

事務局：今までやった学校のコンペ方式でやった時に、学校さんの体操服とジャージについては、アシックスとかデサントとかアディダスっていうメーカーではなくて、いわゆる体操服とか制服を作ってるきているメーカーさんに来てもらって、独自に作ってもらってるような感じですかね。

委員長：なにか要望ありますか。あの学校のようなものいいとか。

事務局：先ほど言ったようにファイテンっていうのは、磁気のネックレスとかだと思んですけど。それが入るか入らないかで価格が変わるかどうかです。この後ろにファイテンという機能を付けて、そこにファイテンの名前が入っても、それだけ価格がちょっと変わるよっていうことで、それがなければ、どの制服メーカーさんが来ても同じようなデザインを作ることは可能ですね。特段なければ、今の研究学園の体操服を作った会社さんっていうだけで、他はもう何社かっていうので決めていただければ、こちらにお任せをお願いします。基本的に言っただけなんですけどメーカーって言われてね、アシックス・アディダスっていうのは、名前が高いんだと思います。名前がなくなってしまうと他のメーカーさんも同じように、それなりのものでできますので、メーカーにコンペに来てもらった段階で、皆さんが選ぶのは、価格と品質だと思うんですよ。何を重視するかだけになっ

てしまうので名前を選びたいっていうのであれば高いところがきますけども、いや、3年、6年着るんだから、長持ちとか着心地とか肌触りとか、そういうもので価格でっていうことになれば、呼ぶメーカーさんは中小企業というわけではなく、ある程度大きい会社ですから、全国展開して、いろんな学校さんにも納めてる会社さんですので、生地とかそれはもうそれなりのものでちゃんと作ってきますので、そういう会社を呼ぶようにはなると思います。

委員長：はい、お願いします。

委員：はい。例えばその何社選ぶかっていうのはあると思うんですけども、あれですかその公募をかけてコンペやりますよって言って呼ぶじゃないですか。こっちで例えば3社と今決めたとして、5社とか6社とかって応募ってこうあるものなんですか。

事務局：今までのコンペのやり方で言いますと、ここは谷田部地区なので、谷田部地区って前からつくば市内ってどこも衣料組合みたいなものがあるんですよね。例えば今お買いになっているのがヒロセスポーツとか永田屋とか何とかあると思うんですけど。その地区で代表の販売店さんがいますので、そちらの販売店さんに、今回例えば3社って話になれば、3社のメーカーを呼んでくださいっていう話でお願いするので、向こうから3社この会社さんですよっていうお話で、ただ、仮に今3社となった場合に、すでに1社はもうこちらでってお願いしているので、その1社を除いた2社をお願いしますっていう形ですかね。今まででいくと、制服は、みどりの時は3社。体操服は5社。それで確かコンペをやった記憶があります。コンペはそのインターネットか何かでこんだけの会社来てくださいっていう応募をすると、一番困るのが、実績の調べようがなく、前に東京であったみたいに、制服が納品できませんでしたっていうのが一番怖いので、そうなった後に問題とすると今度は販売方法なんですよ。全国展開してない

ところが来ました。そこを選びました。そうすると皆さん、今度は実際買
い方。個人でどう買うかっていうことになってしまうことを考えると、販
売店さんで、この会社さんっていうのは大体市内のどこでも扱ってもら
えるようなところだと思うので、近くのところでも買える。今、カスミでも
買えますよね。だから、そういうことができる方法を販売店からだとする
んですけど、販売店とかじゃないと、カスミでも買えませんよ、インター
ネットだけで買ってくださいよってなってしまうたりすると怖いかなと。
あとは今回コンペで呼んでいる会社さんは、販売店でも買えるけども、中
ではオンラインもやっているの、ホームページから買うこともできます
って場合もあるのでそこを考えていくと、やっぱり確実に納品してもら
うことがいいと思うので、代理店さんとか、組合さんとかからちょっと願
いする形にしたいなと思うんですけど。

委員長：先ほどあった一つのメーカーさんは呼んでいただくということで、あ
とはちょっとよくわからないから事務局の方に頼るしかないと思います。
次何社呼ぶか決めるんですけど。制服・ジャージで、それぞれ何社呼ぶ
かです。これもきりがいいよね。前例に従ってっていうのもう大丈夫で
すか。制服3の体操服5。5あったら結構選べますよね。迷いますよね。
3・3だと日程的には1日で済みますか。午後いっぱいだね。だけど1回
で済むもんな。日程的なことも考えると、どうですか。3・3で、開催の
方法についても、1日で実施するということが可能になると思うんですけ
ども。いかがでしょうか。いいですか。それでは、制服・体操服とも3社
ずつ呼んでいただいて、日程的には学園の森と同様の3社・3社で、午後
大丈夫ですかね、参加される方々ですけども。そう。2回やるか1回でや
るかっていうところですね。1回でやった場合は、例にある通り1時から
開催もあるんだけど、メーカー打ち合わせの最終時間を20時から20時30
分まで考えて、開催時刻を遅らせてやれば、午後全部使っちゃうってことは

ないかなっていう、3時ぐらいから始めてっていうこともできるんじゃないかと思うんですけども、どうですか2回やりますか、それとも1回でやっちゃいますか。

事務局：制服とジャージって分けますか。2回に分けると、利点ってというのは、どちらを最初にやってもいいんですけど、コンペってこういうもんだと思って、次にあるときに、やっぱりこういうことを言いたっていうのが出てくる可能性があるんですよ。1日でやっちゃうと集中力が持つかどうかというのと、ああいう質問した方がよかったかなっていうのが、次にはもうなくなってしまう部分があります。ただ1日なので皆さんも、時間は1回で済みますけど。両方やりますので、両方よく調べておいてもらって、やるっていうことが必要ですね。

委員長：2回に分けてやります。はい。3社ずつ。はい。

事務局：一応参考程度にコンペの仕方だけお伝えしましょうか。今までのやり方を。1回でも2回でもいいんですけども、やり方としては、例えば体操服でいきますか。体操服ってなった場合に、メーカーさんがまず入ります。ものを3つ、4つ、5つ持ってきたいものは全部持ってきます。それは、今までも同じなんですけど新しい学校のは作ってこないでくれと。今、各会社さんが実績のある納品のあるものを持ってきてくださいっていうことをお伝えしますので、例えば豊島区のどこかの学校で使ってる体操服ですよとか、神戸の方の学校ですよっていう感じで持ってきます。それぞれの、こういう機能がありますというプレゼンをしていきます。メーカーさんは、例えばハンガーラックにいっぱいかけてきたり、いろんなものを持ってきたり、例えばブロアーを持ってきて吹いてたり、油を付けたものでいろんな実験とかをして、こういう素材なんですよ、こういうものがありますよっていうメーカーが扱っている製品のそれぞれの特徴を言っていきます。皆さんはこういう素材があるメーカー。こういうことができる素材を扱っ

ているメーカーなんだっていうことを、例えば環境に配慮したのはどんなことやっているかって質問があれば、メーカーさんがその場で答えますので、こういう会社さんなんだっていうのを見てもらって、それが3社であれば3社次々と来ます。そうするとやっぱりメーカー独自の、うちでしか扱ってない商品なんですよとかいろいろ出てきますので、そういうことで、どの点で選ぶか決めていただいて、決まったそのあと皆さんで、どの会社が良いって決まりますよね。そうするとその決まった会社さんが当日にプレゼンした商品ありますよね。もし、その中で、気に入った商品があれば、次は新しい学校用のを作ってきてもらいますから、今日説明してもらったこのサンプルを含めたデザインを作ってもらえますかっていうことを要望したりということ是可以しますね。ただ汚れ落ちがよかったっていう素材のやつを作ったもので、一つ作ってきてくださいとかいうことになるようなく、あくまでも1回目のプレゼンはメーカーを選ぶためなので、メーカーが自信を持ったものとか推薦したいものを持ってきてプレゼンをします。そのあと当日に皆さんでどの会社にするかを絞ってもらって、決まった会社は残ってもらいますので、再度入っていただいて新しい学校のを3点ぐらい作ってきてもらうことをお願いしますので、その時に皆さんが一つはこういうのを作って欲しい、こういう青を入れて欲しいとか、要望を出していただく。あらかじめ今回コンペにお願いする会社さんにはやり方としてもその話で、決まった会社さんには新しいのを学校を作ってきてもらうことになりますので、その前提でお願いしますよってことは伝えておきますので、その中のプラスアルファとして、皆さんが、今日のプレゼンの商品を入れたものを考えてきてくださいとかいうのか、青ので作ってきてくださいとか、こんな感じっていうのをその時に言っていただく。その意見をもとに、1ヶ月後ぐらいに今度メーカーさんが新しい学校用のを持ってきます。それを皆さんがもうちょっと色を変えてもらおうと言った意見を出

していただいて、最終、これでいいっていうものを、今度はマネキンとかに、着せて学校に持って行く。学校でお子さんと保護者さんにアンケートを取ってもらう。どれがいいですかとか選んでもらって、その表のケースを見て一番多かった、最終的にじゃあ3パターンあったら3パターンのうちどれにしますかっていうことを決めるっていうのが今までの流れです。ただ今までの中でいくと今度は例えば、サンプルを1回作ってアンケート取る時には、先ほど言っていた、ワイシャツとか、ポロシャツの色を何色がいいですかっていうアンケートをその場で取るかどうかですよ。そういうところで個別なものをやっていけば、だんだん幅も決まってくるんだと思うんですけど。コンペのやり方というのは、今まではそのような形で進めていました。

委員長：うん。それ以外ないよね。はい、ありがとうございました。

事務局：確認ですけども、3社・3社ですけども、体操服は2社でよろしいですよ、1社はすでに決まっている会社を呼ぶってご要望がありましたから。体操服については、研学の体操服を作った会社さんを呼ぶ。残りの2社はお任せにする。制服は3社お任せにするということで、よろしいですかね。

委員長：はい。

事務局：はい。事務局です。あとコンペについて2つありまして、1つが、3社呼ぶって決定したんですけども、3社のメーカーにコンペの中で共通で説明して欲しいことだったり、コンペの資料に入れてきて欲しいこと等があるかどうか。例えば納入実績を3社とも見たいってことであれば、そちらの方を資料作ってくるときに依頼したりすることっていうのも、できます。あともう1つが、コンペ終了後のメーカーの審査方法をどうするかということ。こちらの2つがまだ決まってないので。

事務局：多分今パッと見て、これはこんなふうにしようというのは多分大変だ

と思うので、皆さんで持ち帰ってちょっと話し合っていていただいいていいですか。

委員長：いいですかそれで。持ち帰って話し合って、次の委員会はいつなんだ。今度集まる時ってコンペの時だよ。持ち帰って、この項目入れたほうがいいなっていうのを、私のところに集める感じですか。事務局さんに言って体裁整えてもらうってことは可能ですか。そうですか。じゃあ事務局さんそういうふうにしましたので、6月の頭には事務局さんの方とまた連絡を取って、体裁整えてもらいたいと思います。

事務局：はい。あと基準表とか採点の方には皆さんお任せしますが、メーカーに共通で聞くようなことってありますか。

委員長：メーカーに共通でコンペのときに聞くんですよね。提示してもらうということですね。

事務局：前もってこういうことを話してください。例えば販売実績とか、SDGsの取り組みはどんなものですかとか。基本的にもものは持ってきます。その他に作ってもらうカタログとか説明みたいな、うちの会社はこういう活動実績ありますよっていうのはありますけど、ただそれは会社の名前は付いてないですからね。会社名がわからないような資料になります。だからA社、B社、C社って分けちゃうので、A社って書いて、それまでの取り組みとかいろんなものから会社名が出てるところは全部削除しちゃいますので、それで資料も全部そのA社とかB社っていう形で作ってくるので、その中に皆さんが聞きたい質問を盛り込んで作ってきってもらうのか、事前の質問が何もなければ、もうそれぞれメーカーにお任せしてやってもらいますってことになるのか。

委員長：何か制服・ジャージで、これは聞きたいっていうのありますか。

委員：例えば制服の方だと洗えますかとか、クリーニングはその必要な生地なのかとかですね、クリーニングだけしかできないのか、家庭でも洗えるの

かとかですね、そういうのを聞きたいとか、耐久性のところとか。

委員長：それ聞きます。あとは、言った方がいいですよ。はい。

委員：人数がものすごく多いので、やっぱり納品とか大丈夫なのかっていうのと、ワッペンは付属として売ってくれますかっていうのは3社ともに、確認しないと、別売りはしませんって後で言われるとだめなので。

委員長：そういうところはもう最初からアウトですね。できないって言った段階でアウトです。はい。

委員：多分プレゼンなのであるとは思いますが、他社にない一番の強みとありますか、セールスポイントは共通で伺いたいと思います。

委員：あとは大体の価格帯。うん。やっぱりそういうところも評価基準に強く入ってくると思うので、当然ぴったりっていうのは難しいと思うので、ある程度の価格帯、このぐらいを考えていますよって多分入ってくるとは思いますが、そこはぜひ聞いてみたいと思います。

委員長：あとどうですか。

事務局：今なければ、持ち帰っていただいて、後で連絡ください。

委員長：これも大丈夫なんですか。もう会社に投げるんじゃないですか。大丈夫ですかまだ。

事務局：まだメーカーさんの推薦をもらうしかないのです。推薦してもらったメーカーさんがこちらに問い合わせきますので、その時にこういうのを作ってきてってお願いしますから。

委員長：はい。いつぐらいまでに伝えれば。

事務局：そうですね。5月末ぐらいにはメーカーにお願いしようとしています。

5月末ぐらい。多分明日とか明後日に販売店さんをお願いすると、その1週間ぐらいにはもう多分このメーカーですよって回答来ると思うので。

委員長：はい。これもそれぞれ聞いて集約でいいですかね。これは早いよね。きっと。

事務局：今聞いている中で、資料的に書いてもらいたいというのは、価格帯かどうかがらいで、おそらく機能性のものは、それぞれのメーカーさんが、持ってきながら話はすると思いますし、他のことも多分その場で質問すると答えてもらえるようなものかなとは思っていますので。

委員：先ほどおっしゃった価格帯が私も気になっていたんですけど、大体制服ってどれぐらいが標準価格じゃないですが、一般的な公立の制服の価格ってお幾らぐらいなんですか、トータルで。

事務局：それは物によるんですよ。例えば今までのコンペやるのは、大体幾らから幾らぐらいの価格帯を扱っていますっていう形になってしまうのかなと。前にお話させてもらった通り、このジャケットとかもウールが何%かなんかで価格は決まってくるので、その辺はこれから皆さんが、こういうふうにしてもらいたいということになってくるかなと思います。メーカーからすればいいものっていうことで説明すれば当然高いもの持ってきます。うん。だけどそのあと、決まった会社さんに皆さんが大体これぐらいの方がいいなとかいろんな価格帯を言ってもらおうと、それに見合ったものを今度作ってきます。

委員：それを聞くために、大体幾らぐらい、新しくできた学校はどれぐらいだったんですか。私たちが1社決まって作ってくださって言うって言うときに、大体のその値段がわかんないと、良いもので、その値段でやって欲しいって言えないじゃないですか。なので大体はどれぐらいかかるかっていうのを知りたいです。

事務局：今までですよね。この辺で一番高い竹園なんですよ、ジャケットだけの指定だったと思うんですけど3万近くするんですよ。それ以外は普通に多分今のみどりのと同じか、少し安くなるか、同じであっても、機能が今までよりもっと良くなってるとか、そういうことだったと思いますね。

委員長：校歌に進んで大丈夫ですか。それでは校歌について進みたいと思いま

すので事務局さんからご説明をお願いします。

事務局：はい、事務局です。それでは、議事の2番、校歌について進んでいきたいと思います。今回校歌については特に資料の方は準備していませんけども、これまでからして校歌の作成方法としては大体2パターンに分類できまして、一つ目としましては、開校準備委員会の中で、どなたかお知り合いなどに作詞作曲をお願いしたい人を見つけて、校歌の方を作っていく方法。もう一つは、こちらの事務局の方に一任していただく方法。過去の事例を紹介させていただきますと、秀峰筑波義務教育学校、学園の森、みどりの学園と近年開校したんですけども、こちらの3つの学校はすべて事務局の方に一任させていただいて、こちらの知り合いの方に依頼させていただいてその方に現地を訪れていただいて、学校や地域の様子等を見てもらって、校歌の方を作っていた経緯があります。今年開校した、香取台小学校と研究学園に関しても、こちら最終的には事務局の方に一任をしていただきまして、こちらの方で香取台であれば、現地に作詞作曲の方が見に来ていただいて、作っていただいたり、研究学園だったら、子どもさんにアンケート等をかけて、好きな言葉だったり研究学園のイメージなどを問いかけたりして、校歌を作っていたなどの経緯もあります。そういった点も踏まえてまず委員の皆様のを校歌について話していただいて、その上でどう進めていくかっていうのを決めていただければと思います。それでは委員長、議事の進行をお願いします。

委員長：はい。それではどうしましょうね、校歌ね。お考えありますか、何か。誰かに頼む当てがあるっていう人はいないですよ。作詞家、作曲家を知っているみたいな。すごく有名な人知っていて、頼めるとか。ない。

委員：一点質問したいんですが、校歌は小学校と中学校で別になるのでしょうか。

事務局：研究学園はこちらに一任していただいた結果、小と中で1つの曲にな

りました。ただし、研究学園のは三部構成になっています。曲調的には普通に小学生のはみんな同じ音程になるんですけど、中学生になると、そこにソプラノとテノールも入ってこれるような形で、作曲の方が作ってくれましたので、小中で合わせて歌うことができるように作ってくれています。

委員長：任せますけど。よろしいですか。

事務局：はい、事務局です。ちなみに、みどりの学園や学園の森、秀峰筑波義務教育学校は前教育長のお知り合いの方に作っていただいています。今回はちょっと教育長がもう変わりましたので、この方たちにお問い合わせできるかはわからないですね。

委員長：頑張ってもらいますか、事務局でね。頑張ってもらうでいいですか。

事務局にね。よろしくお願いします。

事務局：こちらに全部一任していただくということで、すべてを一任でよろしいですか。

委員長：よろしいですか。すべて一任します。はい。通学路で大丈夫ですか。通学路に進みたいと思いますけども、これも事務局さんからの説明ということでお願ひします。

事務局：はい、事務局です。これは通学路について入っていきたいと思います。通学路については資料3の方で、簡単に説明の方いたしますので、ご参照ください。まず通学路についてこちらは基本的に通学路の考え方として、文科省の方から書いてある通りなんですけども安全な通学路を確保することができることが重要であるということ、まず第1として、通学路の指定なんですけども、本来は学校長の方が決定するものになるんですが、まだ開校前であるため準備委員会で暫定的に決定していき、開校後は必要に応じて、学校の方で変更等を行っていくという流れになります。通学路の設定に関して基本的な考えとしましては、下記に書いてある通りになります。みどりの南の現状について簡単に説明の方だけさせていただきたいと

思います。こちらで事務局の方で新設校に関する通学路安全点検というのを行わせていただき、調査票の一覧の方を第1回委員会の時に配らせていただいていたと思います。こちらの方に要望事項等をまとめてあり、これ以降も何点かこちらの方に要望が上がってきているところもあり、その中でみどりの南のですね、高速道路の北側にある丁字路、愛宕神社の近くにはなるんですけども、こちらの横断歩道のところに信号が付いたりですね。あと、常盤高速道の下のところには歩行者用のトンネルがあるんですけども、こちらの方にも横断歩道をつけることも、すでに対応してはいます。今後の対応としましては、高速下のトンネルのところですね、ライトが付いていないところは付けて、付いていても暗い所は新しいものに付け替えていく予定で依頼をさせていただいています。横断歩道なんかに関しても、みどりの東のところにセブンイレブンがあるんですけども、あそこの通りで見にくい部分等もあるので、こちらは警察さんの方に依頼の方をさせていただいています。あとは歩道ですね、谷田部南小学校からの道路の方なんかに関しては、道路を途中で横断しないとその先に進めないようにはなっているんですけども、こちらの開校までには、歩道ができるように整備するようにこちらからお願いの方はしてある状態になっています。

委員：愛宕神社のところの愛宕神社側の歩道に信号機付けてもらって、そこはみどりのの時からそこら辺今のみどサポですとあそこをお願いしているところだったんですけども信号機が付いて、横断歩道もできたんですけども、その丁字路の部分の反対側、愛宕神社じゃない方のところっていうのが何も渡るところがなくて多分右折レーンかなんかがあって、そっち側に住んでる子たちは、学校側に来れないんですよ。こっち側の横断歩道も多分なかったんじゃないかと思うんですが、愛宕神社の方に渡る方の横断歩道もなかったの、あそこをどうやって新しい学校の方に行くのかなと思ったんですけど。

委員：学校の通学路っていうところで全体見ていただいていると思うんですけど、一番気になっているのはその学校の目の前の道路が非常に狭くて、交互通行なんですね。センターラインのない交互通行で、学校への送り迎えの保護者をどう誘導してどう通すのか。それと、そこを歩いてくる小学生と時間帯が被った時にどう安全を配慮するのかっていうのがずっと気になっていて、そこをちょっと先に提示していただいた上で、どこをこう歩かせるのかっていうのも、考えていけたらなと思っています。

委員長：今ご意見いただいているような問題というのは、今後の流れの中で、この日程を示していただいて、それで対策をとっていくってということになりますよね。別の市ですけども、やっぱり新しい学校開校する、同じ6年度に開校するんですけど、何回も何回もそのPTAの方と一緒に歩いて、バスルートとかと徒歩ルートとか決めていたので、そういったことが必要になってくると思うので、対策をとるための日程を調整していただくということになってくると思いますのでよろしく願いいたします。はい、お願いします。

委員：あとこれ通学路とはまたちょっと別かもしれないんですけども、学校で小学校と中学校と分かれているじゃないですか。真ん中に道が通ってて、裏にゴルフ場の周りをこう縁取るように、また道路があったりしますよね。例えばそこの安全面だったり、例えば防犯上、ゴルフ場側から不審な人が裏を回ってとかそういうことがあるので、変更、例えば道路を通れないようにするとか、一方通行にするとか、防犯カメラを置くとか何かその辺の防犯対策をしたいね、なんていうことを学校の土地の場所が決まった時にそんな話をしてたんですけども、この辺ってというのは、どの段階で決めるのでしょうか。

事務局：基本この後の流れなんですけど、今お話をさせていただいたのは我々の職員の中で見てきた中でのことなんですけど、今後の流れとしては、お子さ

んが目線ってやっぱりもっと下なんですよね。お子さんに見てもらわないとわからない部分出てくると思うんですよ。我々が普通に歩いていただけでも、ガードレール、カーブミラーが欲しいとか、いろいろ出てくる場所があると思うので、この後は申し訳ないんですけど、それぞれ準備委員さんも戻ってもらって地区とかの登校班とかお子さんとかと通るルートを想定したもので、各地区、こちらで今まで地図とかお渡ししましたので、そこに、ここにはこれが欲しいというのをまとめていただいたものを準備委員会でまとめていただいて、我々にいただくと、それを、こちらで全部、担当課に全部振り分けて、こういう意見が出てるので、これをお願いしたいってことをお話ししようかなと。一旦皆さんに回っていただいて、我々と違うものが出てくるかなと思うので、それでそれをいただいて、警察とか防犯交通とか道路課に全部こういうのでお願いしたいんですっていうことをお話はしてたので、ちょっと一旦皆さんで回っていただいてまとめてもらえればと思っているんですけど、できるだけちょっと早めの方が一番いいですかね。担当としてもそれを全部お願いしなきゃいけないので。なるべくは時間作って、子供さんと当たっていただいたほうがいいかなと思いますね。やっぱりその地区毎の状況によって我々が考えている道路じゃなくて、こっちを通りたいってことになってきたりするかもしれないのでその辺やっぱり1回通ってみただけ、やっぱりこっちのほうがいいかなって出てくれば、じゃあ今度そっちの道の何がって出てくると思うので。

委員長：今の件はそれぞれ学校、PTA、みどサポさんで検討に入って早めに歩く会みたいな感じで実施して、はい。ご報告したいと思います。

事務局：そうですね、はい。ご要望いただければ、例えば地図とかの資料はお渡しはできると思いますので。

委員長：それではよろしいでしょうか。はい。ありますか。大丈夫ですか。はい。あとは大丈夫。じゃあ議事は以上になります。

事務局：はい、事務局です。委員長、議事の進行ありがとうございました。そうしましたら、その他というところで、次回の日程なんですけどもこちらに関しては、今回の資料1の方で見たら右の矢印の方のルートで進ませていただきたいと思いますので、皆さんの方から5月のまでに各メーカーの方に共通して説明していただきたいことと、あと審査方法等をご検討していただいて、こちらで6月の中旬から下旬の方で体操服のコンペの日程と制服のコンペの日程を調整していき、決まり次第すぐに皆さんの方に通知の方させていただこうと思いますので、その流れでお願いできればと思います。中旬から下旬頃で大体1週間ずらすぐらいで。他に何かご質問等がございますでしょうか。

委員：実際問い合わせあった件なんですけど今回の話ではないと思うんですが、ランドセルの件で、おじいちゃんの方から、いずれ、このみどりの南小に進学することになったということだったんですが。どんな基準があるんですかってことだったので、確かにその気持ちはわかるなと思ったところなんですけど、まだ確定していないのでということで、決まったら早く教えて欲しいんだってことだったもんですから、もし、ランドセルの基準等も決まるようでしたら、早めに伝えたいと思いますので、今後の議事の中に入れてもらえたらと思います。お願いします。

事務局：ごめんなさい。逆に言うと、ランドセルって、市内でどこも基準ないと思うんですけど、それを新しい学校だけ設けるかってことですよ。それって教育委員会でも、開校準備委員会でも設けるものでもないような気がするんですが。

委員：土浦とかでは市がリュック型のものを提供していたりするんですが、つくば市でそれはないということですか。

事務局：ないですね。

委員：それは指定はしないってことですか。

事務局：そうですね。他の市町村で指定しているところは、先ほどおっしゃっていた、市が提供している場合とかだとは思いますが。

事務局：他に何かご質問はありますか。特にないようですので、これにて第8回みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を終了したいと思います。

5 閉会